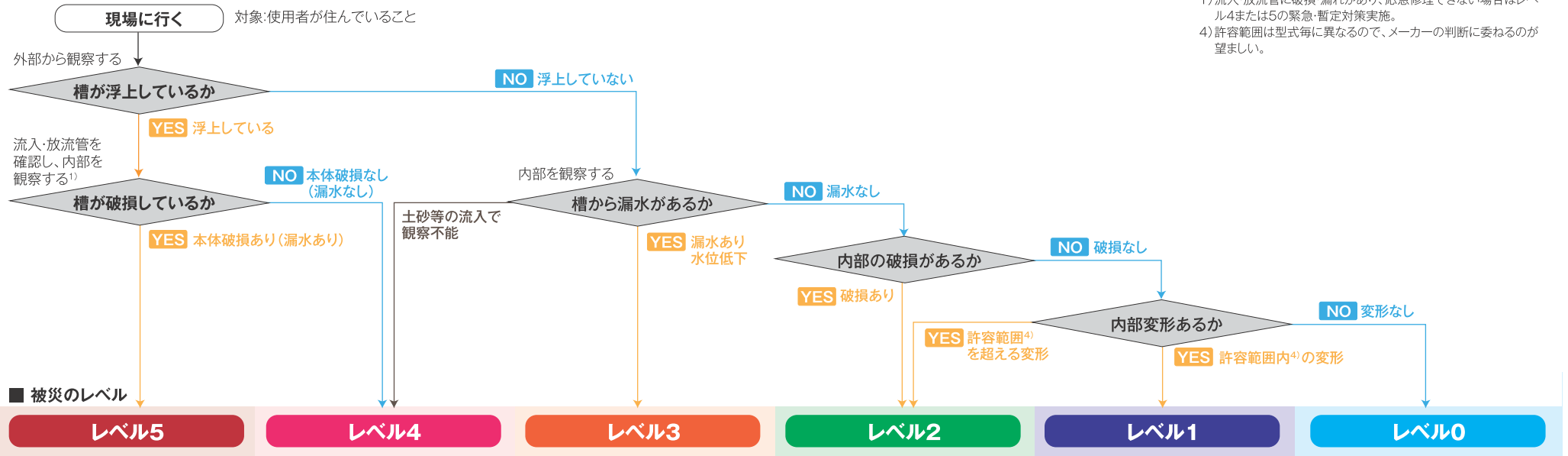


いざという時に役立つ! 緊急対応策チェックシート

浄化槽の被災レベル分けと緊急対応策

- 1) 流入・放流管に破損・漏れがあり、応急修理できない場合はレベル4または5の緊急・暫定対策実施。
- 4) 許容範囲は型式毎に異なるので、メーカーの判断に委ねるのが望ましい。



■ 基本の対応

槽の入れ換え	槽の原位置修復 ²⁾ または入れ換え 条件により暫定使用 ³⁾	槽本体の修復 ²⁾ または入れ換え	暫定使用 内部隔壁、部品の修理	暫定使用 変形の推移観察	暫定使用 ⁵⁾
--------	---	---------------------------------	--------------------	-----------------	--------------------

■ 応急処置

<ul style="list-style-type: none"> ・トイレは避難所等の外部施設を使用 ・雑排水は排水管切り回しで放流 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレは避難所等の外部施設を使用 ・雑排水は排水管切り回しで放流 <p>2) 現場での修復作業は、品質保証上の問題があり、施工業者またはメーカーの判断に委ねる。 3) 流入・放流管が確保できれば暫定使用。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレは避難所等の外部施設を使用 ・漏水部分が前処理部なら、雑排水は排水管切り回しで放流 ・雑排水は浄化槽で「沈殿+消毒」の簡易処理 ・ブロウOK、通電なら「沈殿+単純ばっ気+消毒」処理 	<ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽で「沈殿+消毒」の簡易処理 ・ブロウOK、通電なら「沈殿+単純ばっ気+消毒」で放流 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロウOK、通電なら通常処理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロウOK、通電なら通常処理 <p>5) レベル0であっても、被災後の最初の清掃までは観察期間とし、暫定使用として扱う。</p>
--	--	---	--	---	---

■ 管理者が進めるべきこと(使用者との合意が前提) ※ 応とは、応急処置をいう。恒とは、恒久対策をいう。

<ul style="list-style-type: none"> 応 排水管切り回しの手配 恒 槽の入れ換えの手配 	<ul style="list-style-type: none"> 応 排水管切り回しの手配 恒 槽の埋め直しの手配 恒 埋め直し不可能の場合、入れ換えの手配も考慮 	<ul style="list-style-type: none"> 応 排水管切り回しの手配 応 管理者が修復可能な部位は実施 恒 管理者が修復不可ならメーカーに依頼して実施 恒 入れ換えの手配も考慮 	<ul style="list-style-type: none"> 応 管理者が修復可能な部位は実施 恒 管理者が修復不可ならメーカーに依頼して実施 <p>「管理者」とは、緊急点検を行った保守点検業者</p>	<ul style="list-style-type: none"> 応 最大6ヶ月観察 恒 管理者で判断できない場合はメーカーと相談 	<ul style="list-style-type: none"> 応 通常の保守点検、清掃を継続する 恒 清掃で異常が無ければ平常使用とする
---	--	---	---	---	--